

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス えにしー縁ー				公表日	令和8年 3月 16日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		メインの療育室では運動を中心に、当日の利用者の特性を考慮し3つの小部屋を利用し適切な環境を提供する様にしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7			春からの利用者増加に向けて採用活動を継続中。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		バリアフリーである事に加えて聴覚過敏の利用者にも配慮した個別支援も行えるように部屋割りを工夫している。	回答無し「1」
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎朝の清掃実施と当日のプログラムに合わせた準備を都度おこなっている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		メインの療育室を中心に、当日の利用者の特性を考慮し適切な環境が提供出来ている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		評価表に加えて、モニタリング時や面談/送迎時にも保護者からの意見に耳を傾ける様工夫している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		毎朝の定例会議内で足りない事や言いづらい事は個別に時間を取れるよう工夫している。	更に自由に意見を聞ける時間と環境を整えたい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1		各人のキャリアアッププランを確認し、それに合った研修を受講できる環境を整えたい。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		原案をスタッフ全員が確認し、意見を出し合ってから本案としている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		新規計画時及び更新時も全て共有されている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			

関係機関や保護者との連携	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			毎朝の朝礼にて欠かさ事なく、確認と打ち合わせを実施している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7			毎朝の朝礼にて欠かさ事なく、前日の振り返りを実施している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7				
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7				
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	2		サービス担当者会議には、対象児童をよく理解したスタッフが参加している	関係機関会議が開催されていない。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			協力医療機関及び保育園／保育所との連携はとれている	その他の関係機関との連携をと整える必要がある。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			支援内容の情報共有と相互理解を図るべく情報交換を都度行っている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		7			未だ事例がない
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	5			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		7			地域の中で他のこどもと活動する機会が作れていない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			面談時、送迎時、電話、サービス提供記録を通じて共通理解を図っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1		支援プログラム、利用者負担については契約時に詳しい説明を心掛けている。	運営規程に関しては、事業所内に設置されているが、詳しい説明まで実施出来ていない。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7				
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	1		送迎時には、挨拶だけに留めず、家庭でのこどもの状態や保護者自身に関する状況についてもお聞きする様に努めている。	定期的には実施出来ていない。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		療育参観を開催し、保護者同志の交流を深める機会を設けた。	
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		契約時に丁寧な説明を実施し、申し入れベースで実施する事に加えて事業所側からも問い合わせを積極的に行っている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		毎日の活動内容の報告。毎週のsnsを使った情報発信を行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		利用者の個人情報は鍵付き書庫で保管し、書類を廃棄する際はシュレッダー使用を義務付けております。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		特性に応じて適切なコミュニケーションを取る工夫をしております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7		地域性を踏まえ状況に応じた開催方法を検討していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		消防署員に来てもらい胸骨圧迫訓練を受けた	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		策定し避難訓練も実施いたしました。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		契約時に服薬の有無を確認しており、服薬管理マニュアルを策定し管理している。	予防接種の状況確認を徹底していきたい。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	契約時に確認を取っており、アレルギー情報はスタッフルームの見やすい一致に掲示している。	医師の指示書に関しては対象者なし。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全計画を策定し、安全管理に必要な研修や訓練を計画的に行っております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		自治体や地元子ども部会主催の研修会に参加し、内容はスタッフと共有する様に心掛けている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		契約時に丁寧な説明を実施し理解の上の同意をいただいているが、拘束を行った事例はない。		